



# 犬王女

◆ イヌになったオウジョさま ◆

I・II・III



# 犬王女

イヌになったオウジョさま

I・II・III



# 犬王女

イヌになったオウジョさま

I・II・III



# 犬王女

イヌになったオウジョさま

I・II・III



sin  
maniax.

DRAGON QUEST 2 COTERIE COMIC "MATING PRINCESS".  
CAUTION! PERSON OF LESS THAN AGE OF 18 CANNOT BUY THIS COMIC.  
PRESENTED AND DESIGNED BY "SIN MANIAX" AUGUST 2009.

犬

になった  
王女さま

MATING PRINCESS



成年  
コミック



sin  
maniax.

DRAGON QUEST 2 CD+ERIE COMIC "TRAINING PRINCESS".  
CAUTION! PERSON OF LESS THAN AGE OF 18 CANNOT BUY THIS COMIC.  
PRESENTED AND DESIGNED BY "MANIAX" AUGUST 2009.

# 犬

になつた  
王女さま

TRAINING PRINCESS.

ぼうけんのしょ

▶ さいしょからはじめる

つづきからはじめる

かつて  
ロトの血を引く若者が  
邪悪な竜を打ち倒し  
世界を救ってから  
百年の月日が流れ

ロトの子孫達は  
海を越え大陸各地で  
それぞれの王国を築いた

ここはムーンブルク  
美しい自然に囲まれ  
やさしい人々が暮らす  
平和な国

いいえ……  
平和だった国







この日迄は—



ん…

ウ…ん…?



—裸?

えっ!?

お

ほ…ほ…  
ほ…ほ…?

あら?

やっとお目覚め  
ですか…

わ



フフ…

初めまして…  
かしら？

お姉様♡

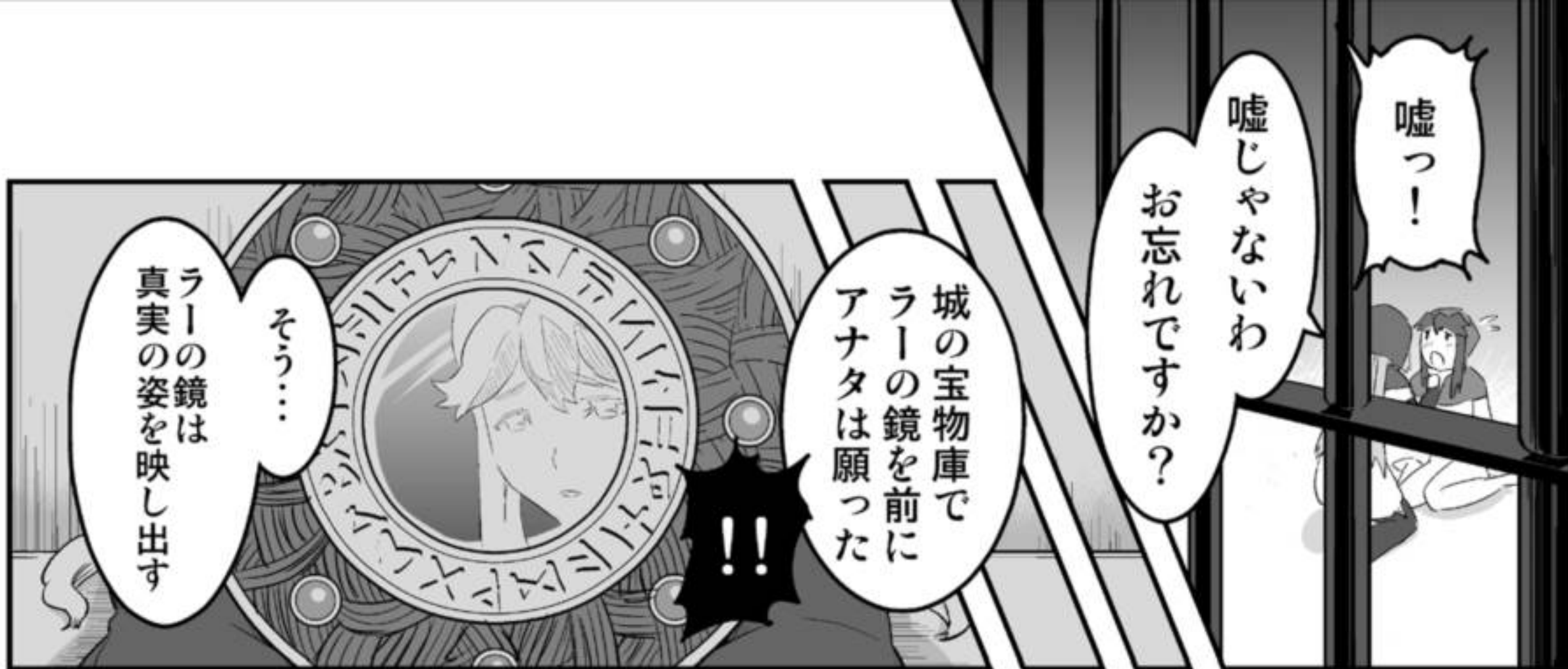
そ、そんな…

私……？

そう…

私はアナタ…  
ムーンブルクの  
王女様♡

クィ



私は——  
王女になんて  
なりたく  
なかったのに



10 D..

何って？  
只のおクスリよ  
お姉様が素直になる  
お・く・す・り ♡

フフツ...



な、何を...ゴホッ



な、何？  
体が...熱い？

やっ!?



やあああっ!!

ダメっ!  
何かっ...来るっ

ピピッ



あらあら  
こんな所で  
おもらしなんて

はしたない  
お姉様ですこと♡

こんなの…

こんな事  
望んでなんかない…

私は…  
ただ普通の女の子みたく  
笑ったり喜んだり  
したかっただけなのに…

ええ♡

うかがってますわ



だから…

教えて  
さしあげるの

女の子  
の喜びを—

!?

浮いて…  
魔法—?

あっ?

やっ!  
見ないで!

王女様じゃ  
味わえない

弄られ

蹂躪され

貶められる

快楽をお♡

クク

クク

ははあ

その代わり

ビクン

無理矢理に奪うなんてもったいない

お姉様には破瓜の痛みも快樂として味わって頂きたいもの

だから…はじめて処女はまた今度

やっやめ

心配無く♡

こっちのはじめて処女もいただきますわ♡

ふあっ!?

あああああっ!!

ウウウウウウ

あはっ♡  
お姉様のおしりグチヨグチヨですわ!

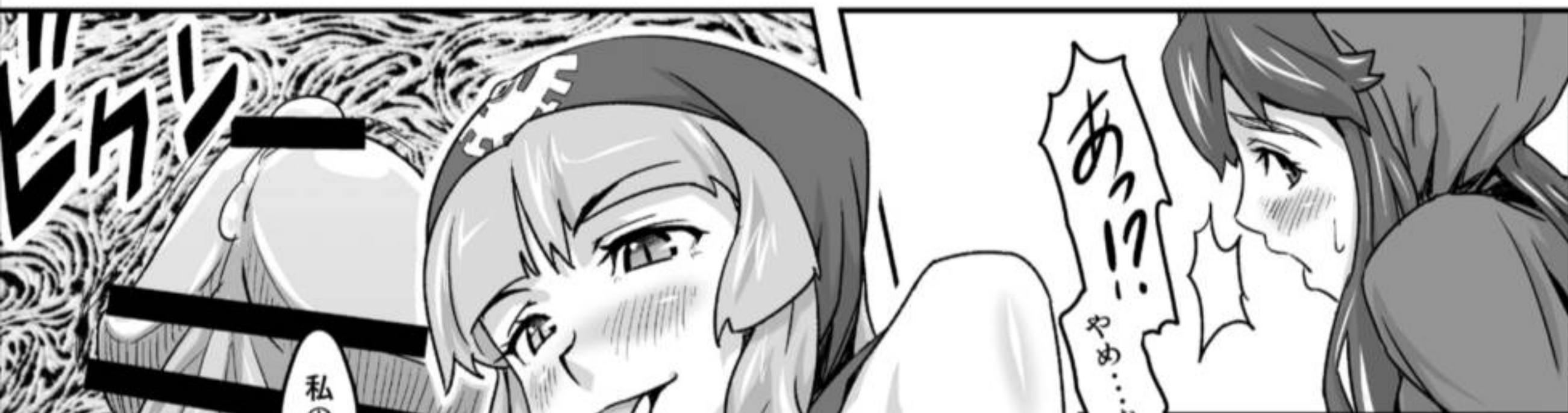
やめっ  
そんなっこと

んあっ!?

どんだん  
お汁が溢れてきて…  
キモチイイんですね♡

そっそんな事っ

ありま…  
せん







アハハッ  
ステキよお姉様 ♡

はじめてのお尻で  
こんなに乱れてっ

王女様とも  
あろうお方が  
お尻の穴犯されて  
喜ぶなんて

ああっ ♡  
ごめんらしい  
おひりで  
かんじてるのお ♡

皆が知ったら  
なんて思うかしらっ

んああっ ♡  
おちんちん  
すごいっ  
きもちいいっ ♡  
うんちあな  
じゅぼじゅぼ  
きもちいいのあっ ♡



あはっ♡

イキそうなのですね？

あはっ♡

お姉様の  
子宮がイキたいって  
ヒクヒクしてますわ♡

シキユ……ウ？

ズルウウ

そう——  
子宮でイクととっても  
キモチイイの  
場所は……

ムム♡

ムム

ムム





ポッポッポッポッ

あーあーあー

この時  
薄れていく意識の中で  
感じました……



次はもっと  
楽しませよう？  
メスの喜びを……ね♥

グッ

もう……  
王女では  
なくなっただと

フフ……  
いっしょしよう

あらあら……  
これくらいで  
気を失うなんて  
しょうがないお姉様……

そして――

さあ……お姉様  
外で皆が  
待っていますわ

私は……

犬になりました

フフツ  
早く元気なお姿を  
見せてあげてくださいいな

はい♥

王女様……

おうじょ

メスイぬ

*The End*



犬  
になつた  
女王さま  
ま



成年  
コミック

# 犬 になつた 女王さま ま



ぼうけんのしょ

さいしょからはじめる

▶ つづきからはじめる

▶ いぬになつたおうじさま I

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

「んっ……  
はあっ……はあっ……」

『ごきげんようお姉様  
フフ…素敵な格好…  
まるで牝犬みたい♡  
』





「そんな…これはあなたが…」  
『あら？そんな事  
おっしゃるなんて悲しいですわ  
私はお姉様が素直になる  
お手伝いをしているだけ  
それに…ユツチはこんなにも  
素直になったの！』

パッ

「んあっ♡」  
『ウフフ…これくらい素直になって頂ければ  
国民を人質に取ったりなんてしませんの…  
まあ、国民はおろか<sup>お父様</sup>国王ですら  
お姉様と私が入れ替わったことに  
気付いていませんが♡』

「そん、な…あはあっ♡」  
『お忘れになったのかしら？  
私はお姉様から生まれた、もう二人のムーンブルクの王女…  
お姉様は王女でありながら、淫らな欲望を  
「やめてっ!!!」』

『ふふ、まあ良いですわ…  
もうすぐ素直な牝犬になるのですから  
存分に楽しみましょう♡』

ゴロ

『さあ…お姉様♥』

『美味しい餌を差し上げますわ  
どうぞ、召し上がりください♥』

「うっ…これは…？」  
『ああ、先ほどお城の皆様のお相手をして差し上げましたの  
その時に頂いた精液ですわ♥』  
「精液…？」

「ええ♥皆様随分と王女様に淫らな想いを抱いておいででしたので私が替わりに慰めてさしあげましたの♥」

「そんな…嘘」  
「あら？嘘だなんて心外ですわ、皆様、大好きな王女様を犯せてお喜びでしたわ♥」

「それに、ホラ…お姉様がお飲みになった精液にはお父様<sup>お父様</sup>に射精<sup>だ</sup>していただいたのも混じってるんですのよ♥」

「あ、ああ…お父様あ…」



『フフ…可愛そうなお姉様…  
信じ守ろうとしていた国民に欲望の対象として見られ  
さらに、尊敬していた国王お父様にまで…』  
『うっ…うう……そんな…  
うああ…嫌あ……』

『お分かりになったでしょう？  
人間は皆、淫らで背徳的な欲望を持っているもの  
お姉様が自らの欲望を否定しなくてもよいのですわ  
だから、もっと素直になりましょう？』

『なんで…こんな…』  
『あら、言ったでしょう？  
私はもう一人のムーンブルクの王女  
だから、私の願いはお姉様の願い  
お姉様が自らの欲望に素直になれるように  
お手伝いして差し上げるのが私の役目！』

『さあ、素直になりなさい…  
使命も何もかも全部忘れて、  
欲望の…牝の本能の赴くままに…』  
『あ、ああ……』

『きもちよくなりましょう…』

「んっ…んんっ♡  
じゅるううっ」

「ふふ…お上手ですわお姉様♡  
いかがですか？精液の味は？」

グビッ

「それでは素直になれた  
お姉様に…んんっ♡」

「んんっ…はあっ♡んんっ 美味しいです♡  
すごく生臭くて、飲み込むと喉に引つかかって

喉を精子に犯されてるみたい♡」

「フフ、随分と素直になられて♡」

欲望に身を任せるのは素晴らしいでしょう？」

「ああっ♡はいい素敵っ♡」

素直になるの気持ちいいっ♡」

グビッ

「ご褒美を差し上げますわ♡  
今度は私のをたっぷり味わってくださいな♡」

「ああ…おちんちん♡…ごくっ」

「あらあら、待てと言っても聞きそうにありませんわね  
しょうがない牝犬だこと♡」

「ごめんなさい…でも…もう…」

「ええ、ご褒美ですもの…どうぞ召し上がれ♡」

「はい♡♡」

Chubby♡

「んぶっ…じゅるっじゅるるるる」

んうっ♡んちゅっ…ぶはあっ♡

ずちゅうううううううう♡

ちゅううううううううう♡

「くうっ♡すごいがつつきよう♡  
んっ、私もう限界のようですわ…」

「ふあいつ♡くらさつ♡  
のろのおくにせーし♡  
びゅーってらしてくらさつ♡  
くっ!!」

びゅーってらしてくらさつ♡





ふん

びん

「あぁ♡♡♡♡♡」

びん

びん

びん

びん

「あらあら、喉の奥に射精されてお漏らし？  
はしたない牝犬ですこと♡  
「ふはっ！はあっ♡んっ♡んくっ  
あはぁ♡こめんなさい♡」



「やっと素直になつたと思えば…  
だらしない牝穴にはお仕置きが  
必要のようですわね♡」  
「ああ…はいつ♡」

「わ、私は…オチンポと  
精液が大好きな淫乱な王女  
いえ…牝犬ですう♡」

「お口に射精されただけでお漏らししてしまう  
しまりのない牝穴をオチンポで塞いでっ  
お仕置きしてください♡」

何々

『ふふ、よく出来ました♡』

プチプチプチッ

「あぐっ！」

『あら？そういえば初めてでしたわね♡  
あまりに淫乱なので忘れてましたわ♡』

ズチュッグプツ

「あっ！ごめんな…ささいいつ!!  
ひぐっ！いんらんっ処女でっ!!  
んへああっ!？」

ズ



「んあっ! あっ? ああんっ♡」  
『ふふっ♡ 気持ちよさそうな泣き声出して  
どうしたのかしら?』

「ひぐう♡ おちんぽお♡  
お、オマンコ、の奥に当たると  
あっ♡ 頭がじびれて  
ああんっ♡ イタイのに  
キモチイイのおおっ♡」

あん

あん

『まったく、お仕置きですのに  
痛いのが気持ちイイなんて…♡  
ふふ…でしたらもっと痛くして  
差し上げますわ♡』

「え…? ホイ…?」

あん

「あっ? やあっ…」  
『ご心配なく…でもその前に』

あん

『ええ♥破瓜の傷を治してさしあげましたの♥  
もちろん処女膜も元通りに…そして  
また奪ってさしあげますわっ!!』

「ひぐううううっ!!」

「ずちゅっグププッ」

『あはははっ♥いかがですお姉様？  
処女を失い続ける痛みはっ!!』

「ミチミチイッ」

「あぎっ!!ふうっ…んっ♥」

「あああああっ♥」

『あはっ♥素敵ですわお姉様っ♥  
処女膜破られて感じるなんてっ!!』

「プシヤアアアアアアアア」  
「はひいっ♥さっきまれ処女らったのにい♥  
処女膜破られてキモチイいんいれすうっ♥」  
「うふふっ♥これならどんなモノでも  
受け入れられそうね♥」

「いいですわ♥  
そろそろ止めを刺してあげます♥  
イキ狂いながら孕みなさいっ!」  
「はひっ♥はらみますっ♥  
しよじよまんこになかだじされて  
にんしんしますう♥」

「あはあああああっ♥」

Ww



「ラフ：素敵な格好：本当に牝犬ね♡  
そんなお姉様にお願いがああるの  
聞いてくださるかしら？」  
「おねがい？」  
「ええ、お姉様には繁殖用の牝犬に  
なっでいただきたいの♡」

「はんしよく？」  
「そうですね、いろんな人が  
お姉様を孕ませてくださるの：  
たくさん交尾してたくさん妊娠する：  
素敵でしょう？」  
「ああ：うひょ♡」

「だから、王女のお仕事は私に任せて  
お姉様は立派な牝犬になっでほしいの  
お願いできるかしら：お姉様♡」

「はあい♡  
おうじよさまあ♡」

『はい…ムーンブルクは落ちましたわ…  
いえ、今はムーンペタに…はい…  
可愛がってもらっているようです…  
ええ…優秀な子を産んでもらいますわ…  
ロトの血を受け継いだ魔物を…ね…』



大  
王女  
になつた  
ま



成年  
コミック



# 犬👁️になつた 女王さま👑



ぼうけんのしょ

さいしょからはじめる

▶ つづきからはじめる

いぬになつたおうじょさま **I**

▶ いぬになつたおうじょさま **II**

\*\*\*\*\*

ムーンブルクだって？

知らないのかい？  
あそこは魔物に滅ぼされちまって  
人っ子一人いやしないよ…

王女様も行方不明って話だし  
今頃どうなってる事やら…

…ああ、そういえば

お城が滅ぼされた頃からかね  
町外れの小屋に野良犬が  
住み着いたって噂だよ

まあ行ってみるのも  
いいけどね…  
十分気を付ける事さ

ひっひっひっ







カッ

!!

オッ

オッ

オッ

アッ

アッ

アッ

アッ

ガッ

お帰りなさいっ  
ご主人様っ♡♡

あ…♡

アッ



あ…ひょっとして初めて…  
ごこめんない!

?

それは…  
ご挨拶をさせて  
いただきますね



??

!?



あは♡

大きくなってる  
うれしいです♡



初めましてご主人様♡  
私は交尾用のメス犬です♡

交尾用のメス犬は  
一年中発情期  
なんです♡

だから、今日は  
いっぱい交尾して  
たくさん気持ち良くな  
らなきゃださいわっ♡



フッフッそれでは  
こちらにもご挨拶を…



あ♡

ロッキンも...

みーのけた♡

ジュン

あめあめ♡  
あ汁いひひ♡

んぎっ♡

ジュルツ♡

ジュルルルツ♡

わらひきま♡  
排明しちやいまはあ♡

ろびつれふかあ♡  
めしゅ犬の  
あ口まんとあ♡

んぎっ♡  
いひひなひんあ♡

あめあめ♡

!!

あめあめ

あめあめ

んぎっ♡

んぎっ♡

ジュン

ジュン

ジュン

ジュン

あめあめ



メス犬マンコで

ご奉仕させて  
いただきます♡

さあ  
ご主人様…  
横になっ♡

おくちマンコ  
の次は…

ほお♡

見えますか？  
私の処女膜♡

破れる度に  
治癒魔法かけてたら  
伸びきっちゃいました♡

それにホラ  
ご主人様の精子欲しく  
子宮もここまて  
降りてきちゃってます♡

指だっって簡単に  
入るんごすよ♡

もちろん  
オチンポだっって…♡

ぐんぐん

ぐんぐん



はあっ♡  
もう我慢  
できません…

ああっ♡  
おとなチンポに  
レベルアップ  
しましたあ♡

ご主人様の童貞チンポ  
発情メス犬マンコに  
入れちゃいます♡



んはあああ♡

いっほっ  
種付けして  
ご主人様の赤ちゃん  
孕ませてくださいね♡

はあっ♡





あははは♥おははは  
イッパツイッパツイッパツ

ご主人様もお♥  
好きなだけイッパツ  
くださいねえ♥

2600♥  
それじゃ  
動きまますね♥

ジュッ

ジュッ

ジュッ



2600♥

ご主人様のちんぽ♥  
メス犬子宮と  
キスしてるのあ♥

2600♥  
おははは

ジュッ

ジュッ

ジュッ

あはは

ジュッ

ジュッ



200♥の快感に  
あたるなよ

お汁吹いて  
イッパツの快感

あーっ♥

子宮口が開いて  
きまひたあ♥

そのおまんこ  
突っ込んだら

あーっ♥  
来こんだら

メス犬子宮に  
オチンポ入れてこえ♥

あーっ♥  
おまんこ

あーっ♥

あーっ♥

あーっ♥

あーっ♥



はあはあ

はあはあ

はあはあ♡

わかりますかあ？  
ご主人様のチンポ  
入ってるの♡

ああ♡クル♡

キマ♡チンポ♡  
スゴイの来♡じゅ♡

メス犬子宮の一番奥に  
精子叩き付けて  
はらませてる♡

ご主人様の赤ちゃん  
孕みたいの♡

子宮せ♡♡♡  
気持ちいい♡

みてくらさい♡  
メス犬子宮に  
チンポ出し入れ♡

はあはあ

はあはあ

はあはあ

はあはあ

はあはあ

はあはあ

はあはあ

はあはあ



おはっ♡♡♡  
おはっ♡♡♡  
おはっ♡♡♡

おはっ♡♡♡  
おはっ♡♡♡

おはっ♡♡♡  
おはっ♡♡♡

おはっ♡♡♡

おはっ♡♡♡

おはっ♡♡♡  
おはっ♡♡♡

おはっ♡♡♡

おはっ♡♡♡

おはっ♡♡♡



*The End...*



おくづけ

著 者 轟 真

発 行 sin-maniax

<http://sin-maniax.com>

[sinmaniaux@gmail.com](mailto:sinmaniaux@gmail.com)

誌 名 犬になった王女さま I・II・III

発行日 2013年06月01日



\* 未成年の方の購入及び購読  
各種媒体への無断転載を禁止させて  
頂きます 予めご了承ください。

QUEST 2 CÔTÉRIE CÔMIC "MIA+ING PRINCESS".  
PERSON OF LESS THAN AGE OF 18 CANNOT BUY  
AND DESIGN "SIN-MANIAX" AUGUST 20

